

財政福祉委員会
 2011年度決算審査
 山口清明議員

守山市民病院の存続を 5月の病院改革プランで事業継続しながら廃止を決定

財政福祉委員会の決算審査で、山口議員は守山市民立病院の廃止問題などをただしました。

前年に城西病院を民間に売却し、緑市民病院は今年から指定管理者制度を導入、守山市民病院も、住民と患者からの直営で存続を求める強い声を踏みにじる形で廃止と売却を決定してしまいました。

守山市民病院廃止でがん対策が後退

山口議員は、守山市民病院の緩和ケア病棟について、「直営での継続を断念したのはがん対策の後退ではないのか」と追及しました。当局は、「緩和ケアは医療全体で取り組むべきものであり、守山市民病院の病棟がなくなったからといって後退とは考えない」と開き直りの答弁。山口議員は、「新改革プランには、わざわざ緩和ケア病棟は市内に6つしかない、と書いてある。緩和ケアそもそも論でごまかすことはできない。がん対策基本条例までつくった年なのに、がん対策の明らかな後退だ」と厳しく批判しました。

他党の議員からも、緩和ケア病棟の廃止は納得できないとの声があがりましたが、当局は「医師を公募しても集まらず、いまの体制ではもう限界だ」と泣き言答弁です。

守山市民病院における緩和ケアの実績（2011年度決算）

区分		実績
入院	延患者数	4,453人
	1日平均患者数	12.2人
	病床利用率	81.1
	平均待機期間	30日
外来	延患者数	196人

患者の受け入れ過ぎは無理が重なる

東市民病院は、7対1の看護基準をとっていましたが、12月から3月までは患者が予定よりも増えすぎて、7対1がとれなくなりました。山口議員の質問に「経営上の影響は約1億円強のマイナス」という答弁でした。山口議員は「患者を積極的に受け入れるのはいい

が、看護基準もランクが下がり、業務が過重になると看護師に無理がかかり、離職者を増やす。医師だけがはりきってもうまくいかない。医療と経営の目標をチームとして共有し、どんな医療を展開するか、総合的に判断して病棟運営にあたってほしい」と指摘しました。

消費税負担は5億円円以上

病院負担の消費税は市立病院全体で5億5527万円です。いわゆる「損税」です。消費税が10%になると約10億円の負担に。経営上、重い負担となります。山口議員は「病院局としても、他の病院団体とも力を合わせて国にしっかりとモノを言うべき」と指摘しました。

新名古屋市立病院改革プランの主な成果指標

区分	指標	計画	実績
東部医療センター	内科二次救急受入件数	6,100件	6,763件
	救急車搬送件数	4,900件	4,796件
	手術件数	3,000件	5,154件
	心臓血管外科手術件数（再掲）	130件	155件
	脳卒中入院患者数	410人	461人
	紹介率	40%以上	43
	逆紹介率	60%以上	63
守山市民病院	緩和ケア病床利用率	90	81.1
	緩和ケア外来患者数	220人	196人
	紹介率	35	36.3
	逆紹介率	20	30
西部医療センター	小児科二次救急受入件数	2,300件	2,689件
	手術件数	2,000件	2,738件
	外来がん化学療法実施件数	1,100件	1,076件
	リニアック実施件数	2,900件	2,924件
	分べん件数	1,100件	1,168件
	紹介率	40	42.3
	逆紹介率	50	29.9
緑市民病院	手術件数	500件	418件
	外来がん化学療法実施件数	360件	298件
	紹介率	30	33.5
	逆紹介率	30	36

新名古屋市立病院改革プランの主な経営指標

区分	東部医療センター		守山市民病院		西部医療センター		緑市民病院		計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
1日平均患者数（入院）	415人	422人	78人	58人	321人	294人	164人	68人	978人	841人
1日平均患者数（外来）	877人	856人	262人	230人	952人	740人	616人	340人	2,707人	2,166人
診療単価（入院）	53,582円	51,629円	28,722円	29,019円	49,081円	45,839円	33,458円	37,356円	46,747円	46,897円
診療単価（外来）	9,370円	9,222円	6,768円	7,012円	8,978円	10,194円	6,745円	7,975円	8,383円	9,124円
職員給与費比率	54.7	56.6	94.7	109.6	60	65.4	69.7	118.6	61	67.8
経常収支比率	100.1	97.1	70.4	60.9	83.3	79.5	89.5	58	89.6	82.4

注：表中の値は四捨五入をしているため、各病院の値の和と計が一致しない場合がある。